

生産情報

農業振興課 二上 拓哉



りんごの生態

相馬管内の生育状況は、発芽日は昨年より5日～7日ほど早く経過しましたが、4月上旬から中旬にかけて平年と比べ気温が低く経過したため、展葉日はほぼ昨年並みとなりました。4月下旬以降の気温は平年より1℃ほど高く推移しており、今後の生態は早まることが考えられます。

りんご作業 (5/15～6/15)

今後は、摘果作業を迎えます。一回目の摘果作業は、早く、より多くの数を摘果するよう心がけましょう。果実の細胞分裂が終わる「落花25日頃」までに摘果を終えるのが理想的です。

摘果作業が遅れそうな場合には、薬剤による摘果を行いましょ。摘果剤はミクロテナポン1200倍を使用し果実に十分にかかるように、展着剤を加用して10aあたり350ℓ以上散布して下さい。

散布時期は、ふじ、王林、早生ふじ、トキでは満開後2週間頃(ふじは横径8～10mmくらい)、紅玉、星の金貨では満開後3週間頃(紅玉では中心果の横径16mmくらい)の一回です。つがる、世界一などの早期落果の多い品種やジョナゴールドにかかると落ちすぎる場合がありますので、かからないように気を付けましょ。

	ふじ	王林	つがる
湯口	4/16 (昨年同日)	4/14 (1日早い)	4/19 (1日遅い)
紙漣沢	4/17 (2日早い)	4/16 (1日早い)	4/21 (昨年同日)
相馬	4/17 (2日早い)	4/16 (2日早い)	4/21 (2日早い)
りんご研	4/15 (1日早い)	4/14 (1日遅い)	4/18 (1日遅い)

地区別の展葉日 (カッコ内は昨年比)

散布計画 りんご病害虫防除暦 (第5回目～8回目)

回数	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備考
5	350ℓ	落花10日後頃	チオノック エルサン 果面保護剤	500倍 1,000倍	リンゴハダニ対策としてバロック2,000倍が有効
6	420ℓ	落花20日後頃	ジマンダイセン スプラサイド 果面保護剤	600倍 1,500倍	
7	500ℓ	落花30日後頃	アントラコール モスピラン 果面保護剤	500倍 4,000倍	アントラコールは収穫前日数45日なので極早生品種は注意する
特散	500ℓ	落花40日後頃	チオノック ダイアジノン 果面保護剤	500倍 1,000倍	防除が早まっている場合は、特別散布を実施する

水稲

水田の一発除草剤は「メット」を使用します。除草剤施用時には5～6cmの深水にし、その後3～4日は水田に水を入れないようにしてください(薬剤の層を壊さないため)。やむを得ず水を入れる場合には、静かに水を入れて下さい。その後の水管理は、平均気温が高い時は浅水にして分けつを促進し、低い時には深水にして低温障害を防ぎましょ。

水が足りなくなった場合は夜間に水を入れ、かけ流しは絶対に避けてください。

◎農作業事故防止に努めましょ

農作業が本格化し、忙しくなりますが、機械作業は焦らず無理をしない運転を心がけましょ。どんなに慣れた作業でも油断はせず事故防止に努めましょ。

今年も高品質でおいしいりんご生産に向けて、産地一丸となって取り組んでいきましょ。